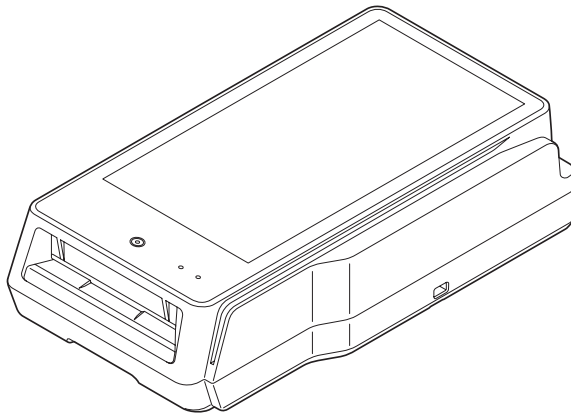


Panasonic®

取扱説明書<準備編>

POS 接続型決済端末

品番 JT-VS1S シリーズ



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

はじめに

■ 本書について

本書は、POS接続型決済端末（JT-VS1Sシリーズ）の基本的な取り扱いについて説明しています。

- 本機では、カードやバーコードなどの読み取り操作をお客様が行います。
カードやバーコードの読み取り操作のしかたをお客様に説明してください。
- 本書のイラストは実際と異なる場合があります。
- 本書の内容は、予告なく変更することがあります。
- 別売品の最新情報については、購入先にお問い合わせください。
- 決済業務などの操作方法については、該当する業務の取扱説明書をご参照ください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 本製品は、日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。 |
|--|

もくじ



安全上のご注意	4
使用上のお願い	9
法規情報	11
商標・ライセンス	13
本体と付属品の確認	15
各部の名称と働き	16
各部の接続方法	18
電源を切る／入れる	23
本機のセキュリティについて	24
磁気カードの読み取り	25
接触型 IC カードの読み取り	26
非接触型 IC カードの読み取り／書き込み	27
バーコードの読み取り	28
タッチパネル操作について	29
本機の動かしかたについて	30
ソフトウェア更新	31
困ったときには	32
仕様	34

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。






- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

- 本機、ACアダプターについて

 警告	
 分解禁止	分解や修理、改造をしない ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
 禁止	異物を入れない ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	水をかけたり、ぬらしたりしない ショート・発熱・発火により、火災・感電・けがの原因になります。 ● ぬれた場合は、直ちに電源プラグを抜いて購入先にご相談ください。
 接触禁止	ACアダプターを接続しているときに雷が鳴り始めたら、本機やACアダプターに触れない 感電の原因になります。

安全上のご注意

■ 本機、ACアダプターについて（つづき）



警告



異常・故障時には直ちに使用をやめる
異常が起きたら直ちに電源プラグを抜く

- ・破損した
- ・内部に水や異物が入った
- ・煙が出ている
- ・異常なおいや音がする
- ・異常に熱い

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 直ちに電源プラグを抜き、修理について購入先にご相談ください。



禁止

ACアダプターのコード・ケーブル、電源プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- コード・ケーブル、電源プラグに異常がある場合は、購入先にご相談ください。



電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全だと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上のご注意

■ 本機、ACアダプターについて（つづき）



警告



医療機関の屋内では次のことを守って本機を使用する

- ・病棟内では、使用しない
- ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、使用しない
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から本機を15 cm以上離す

電波によりペースメーカーおよび除細動器の作動に影響を与える場合があります。



禁止

高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しない










本機からの電波が電子機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

安全上のご注意

■ 本機、ACアダプターについて（つづき）

 注意	
 禁止	<p>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所には置かない 内部に異物が入ると、火災・感電の原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>ACアダプターを接続したまま移動しない コード・ケーブルが傷つき、火災の原因になることがあります。 ● コード・ケーブルが傷ついた場合は、直ちに電源プラグを抜いて購入先にご相談ください。</p>
 禁止	<p>ACアダプターに強い衝撃を加えない 落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。 ● ACアダプターに異常がある場合は、購入先にご相談ください。</p>
 禁止	<p>高温の場所に置かない 調理台、熱器具のそばや直射日光の当たる場所など極端に高温になる場所に置くと、外装ケースの変形や、内部部品の故障・劣化を引き起こすことがあります。そのような状態での使用は、ショートや絶縁不良による火災・感電の原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>不安定な場所に置かない 落下して、けがの原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>カメラのレンズに直射日光などを長時間当てない レンズの集光作用により、火災・やけど・けがの原因になることがあります。</p>
	<p>必ず指定品（付属品または指定の別売品）を使用する 指定以外の機器を使用すると、火災・感電の原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>電源プラグを抜くときは、コード・ケーブルを引っ張らない コード・ケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。</p>

安全上のご注意

■ 本機、ACアダプターについて（つづき）



注意



ディスプレイが破損した場合、割れたガラスやむき出しになった内部、もれた内部の物質には触れないように注意する

けがの原因になることがあります。

また、内部の物質が皮膚や衣服に付着すると目や皮膚への傷害を起こす原因になります。

こすらずすぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。



禁止

LANポートに指定のネットワーク以外の機器を接続しない

火災・感電の原因になることがあります。

LANポートには10BASE-T、100BASE-TX対応の機器のみを接続してください。電話回線やその他の回線を接続しないでください。

使用上のお願い

本製品を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

お願い

- 暗証番号やカード情報の漏えい、悪用を防ぐため、日々のご使用の前に、本機に分解または改造された形跡がないか確認してください。異変がある場合は使用せず、購入先にお問い合わせください。

■ 本機について

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。故障、破損の原因になります。
- ディスプレイ上に物を置いたり、先のとがったもので押さえつけたりしないでください。ディスプレイの表面に傷がつく原因になります。
- テレビやラジオの近くに置かないでください。受信障害の原因になることがあります。
- 静電気の起きやすい場所（じゅうたんを使用しているところなど）や、テレビ・ラジオなどの磁気を発生する機器の近くには置かないでください。誤動作・故障の原因になります。
- 本機、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、下記の記載事項をお守りください。
 - ・ 本機の仕様に適合した周辺機器を使用してください。（→34ページ）
 - ・ コネクターの形状、向きに注意して正しく接続してください。
 - ・ 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認してください。
- 電源端子や各ポートに、ほこりや油などを付着させないでください。また、傷をつけないでください。
- 本機は動作に必要な重要データを内蔵電池でバックアップしています。内蔵電池が消耗すると、重要データが消失して本機が動作しなくなります。内蔵電池を消耗させないために、できるだけ電源（ACアダプター）を接続してください。

使用上のお願い

■ 操作環境・使用場所について

- 本機・付属品は防水／防じん性能を有しておりません。水などの液体をかけたり、ぬらしたりしないでください。また、湿気、砂、ほこりの多い場所でのご使用はおやめください。
- 屋内（一般店舗内の環境）で使用してください。
- 強い電磁波のあるところから離して使用してください。
（例）電子レンジ、無線機、トランシーバー、磁石、万引き防止装置、高圧線、自動ドア、通信用アンテナ、タグ解除機など
- 磁気カードの読み取り操作を妨げるような場所に置かないでください。
- 寒い場所から暖かい場所へ移すと結露することがあります。結露した場合は、付着した水滴が蒸発するまで本機の使用を控えてください。

■ お手入れについて

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。
 - ・ ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、本体表面に影響を与えるおそれがありますので使用しないでください。
 - ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 暗証番号の入力方法について（お客様にお伝えください）

- 暗証番号の漏えい、悪用を防ぐため、以下のことをお守りください。
 - ・ 必ずお客様に入力していただいでください。
 - ・ 周りの人に見られたり、監視カメラに映ったりしないように、手や体で隠すようにして入力していただいでください。
- 暗証番号の入力ミスを防ぐため、入力音や画面表示を確認しながら確実に入力していただいでください。

法規情報

日本国内で無線LAN / Bluetooth®をお使いになる場合のお願い

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、購入先にお問い合わせください。

本機の無線LAN 機能（2.4 GHz帯）が使用する周波数帯

2.4 DS/OF 4

本機が、2.4 GHz周波数帯（2412から2472 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重（OF）方式の無線装置で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

本機のBluetooth 機能が使用する周波数帯

2.4 FH 1/XX 1

本機が、2.4 GHz周波数帯（2402から2480 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式／その他の方式の無線装置で、与干渉距離が約10 mであることを意味します。

無線LANアクセスポイントのチャンネル幅を40 MHz帯域に設定した状態で本機の無線LAN機能（2.4 GHz）をご使用中に、周囲に同一の周波数帯を使用する機器があると、電波干渉により通信速度が遅くなるなどの障害が発生する場合があります。

電波干渉が発生した場合は、無線LANアクセスポイントのチャンネル幅を20 MHz帯域に変更すると改善することがあります。

チャンネル幅の変更方法については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

5.2 GHz/5.3 GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2 GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合は除く）。

上記のご注意は画面にも表示されます。電源を入れた状態で、電源ボタンを長押し（2秒以上）して表示される画面の「認証情報」をタッチしてご確認ください。

法規情報

改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」の情報が画面に表示されます。電源を入れた状態で、電源ボタンを長押し（2秒以上）して表示される画面の「認証情報」をタッチしてご確認いただけます。本機のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

本機の新接触型ICカードリーダー／ライター機能は、周波数13.56 MHzの誘導電波を使用しています。周囲で他の非接触型ICカードリーダー／ライターなどをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

本機は、総務省の型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。

本機を改造した状態で使用すると電波法に抵触するため、その設備は絶対に使用しないでください。本機の型式指定は画面に表示されます。電源を入れた状態で、電源ボタンを長押し（2秒以上）して表示される画面の「認証情報」をタッチしてご確認いただけます。なお、型式指定番号は以下をご参照ください。

機種名（型式名称）	指定番号
JT-VS1S-1	第HC-24001号

本機は、VCCI自主規制措置運用規定に基づく技術基準に適合しており、その適合マークは画面に表示されます。電源を入れた状態で、電源ボタンを長押し（2秒以上）して表示される画面の「認証情報」をタッチしてご確認いただけます。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本体、ACアダプター銘板の図記号について

～	: 交流
≡	: 直流
◇⊕⊖◇	: DC入力／DC出力
□	: クラスⅡ機器

商標・ライセンス

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック ホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
 - QR コード は (株) デンソーウェーブの登録商標です。
 - FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
 - その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。
-
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License 及び AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<https://www.mpegla.com>)をご参照ください。
 - オムロンソフトウェア (株) の iWnn IME for Android を使用しています。
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2011 All Rights Reserved.
 - 本製品には、GNU General Public License (GPL), GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェア及び GPL, LGPL 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェアが含まれています。
お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL, LGPL またはソースコードの開示義務その他の条件に従い、複製、頒布及び改変することができます。
本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニック コネクト株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担頂くことを条件として、機器による読取が可能な GPL / LGPL が適用されるソースコードの複製物またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応するソースコードの複製物を提供いたします。
<お問い合わせ先>
oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com
当該ソフトウェアに関する詳細 (GPL / LGPL の各ライセンス文含む) は、
[設定] → [タブレット情報] → [法的情報] の手順で確認することができます。

商標・ライセンス

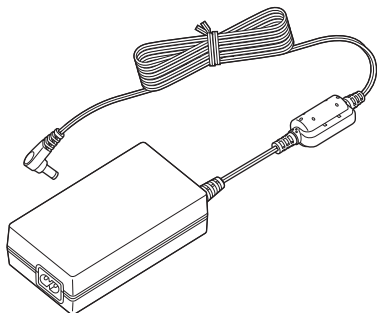
- This product includes the Independent JPEG Group's software. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- This product includes other free software or open source software.
- For more details on the relevant software (including license information), refer to the information displayed on the following screen: [設定] → [タブレット情報] → [法的情報] .

本体と付属品の確認

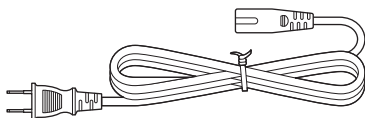
- 万一、足りない場合は購入先にお問い合わせください。
- 機種により、付属品が異なる場合があります。詳しくは購入先にお問い合わせください。

■ 本体×1

■ ACアダプター (DHLV1014) ×1



■ ACコード×1



- 付属のACコードは、付属のACアダプター以外の製品などに転用しないでください。

■ 安全上のご注意×1

<別売品>

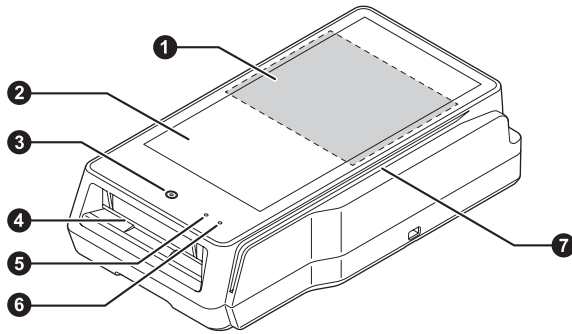
- 購入方法は、購入先にお問い合わせください。

■ 電子サイン用スタイラスペン (JT-C60ZSP-10)

(→22ページ)

各部の名称と働き

■上面



① 非接触型ICカードかざし部

② ディスプレイ（タッチパネル）

- 保護シートが貼られている場合は、はがしてから使用してください。保護シートをはがしにくい場合は、保護シートの角の部分にセロハンテープなどを貼り、セロハンテープごとゆっくりとはがしてください。

③ カメラ

バーコードまたはQRコードを読み取ります。

④ 接触型ICカード挿入口

⑤ 動作表示ランプ

緑点灯：非接触型ICカードの
カード処理完了
緑点滅：タンパー検出

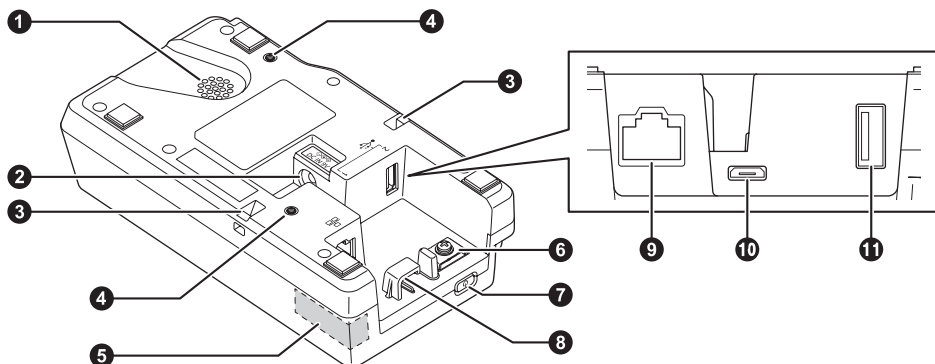
⑥ 電源ランプ

緑点灯：電源オン
消灯：電源オフ

⑦ 磁気カードリーダー

各部の名称と働き

■底面



- ❶ スピーカー
- ❷ 電源端子 (⚡)
- ❸ ケーブル取り付け穴
スタイラスペン用ケーブルなどを取り付けます。
- ❹ 設置用ネジ穴
本体を固定するとき 사용합니다。
 - ネジ
呼び径：M3
はめあい長さ：3 mm ~ 4.5 mm
 - 締め付けトルク値：
0.4 N・m ~ 0.6 N・m
- ❺ 無線LAN / Bluetoothアンテナ*
- ❻ 盗難防止ワイヤー取り付け部
(→21ページ)
- ❼ 電源ボタン (⏻) (→23ページ)
- ❽ フック (→19ページ)
- ❾ LANポート
- ❿ micro USB (Type-B) ポート
- ⓫ USB (Type-A) ポート

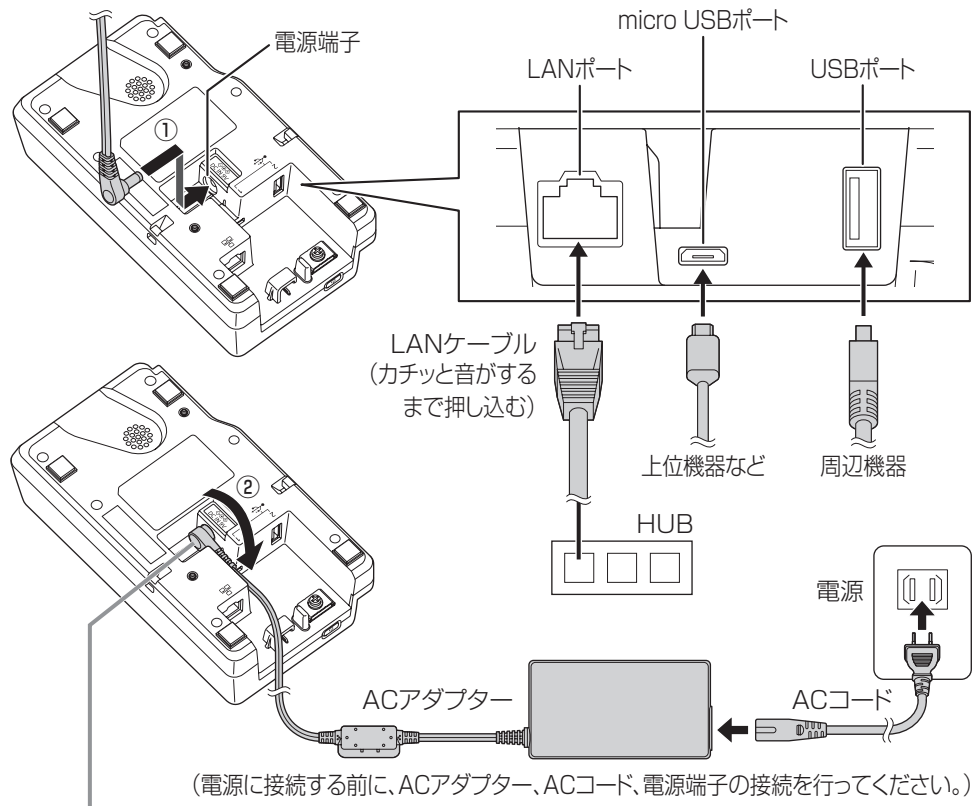
※ アンテナは本体に内蔵されています。
アンテナ付近を手や物で覆うと正常に動作しなくなる場合があります。

各部の接続方法

ACアダプター、ケーブルなどを接続するときは、平らな場所に柔らかい布などを敷いて作業してください。また、本体の下に異物がないことを確認してください。

■ACアダプター、各ポートについて

- 接続のしかたは、「■ケーブルの接続のしかた（ケーブルの抜け防止）」（→19ページ）をご参照ください。



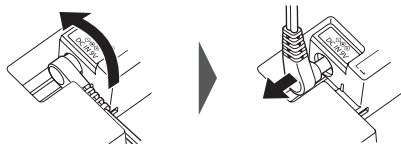
●プラグを挿し込むとき

ACアダプターのプラグは、奥までしっかりと挿し込んでください。



●プラグを抜くとき

ACアダプターのプラグを起こし、プラグを矢印の方向に引いて抜いてください。ケーブルを持って引っ張らないでください。



各部の接続方法

◆お願い

- 各ケーブルのコネクターには、向きがあります。向きをよく確かめて挿し込んでください。接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状や向きなどを確認してください。
- ACアダプターは本機から10 cm以上離してください。磁気カードリーダーが誤動作するおそれがあります。

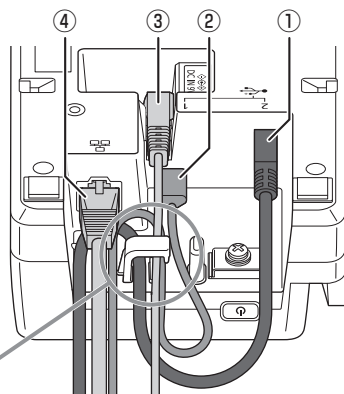
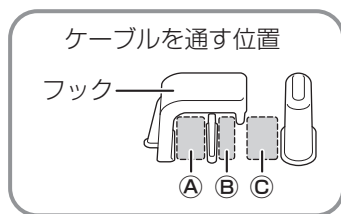
■ケーブルの接続のしかた（ケーブルの抜け防止）

micro USBケーブル、USBケーブルは、引っ張られると本体から抜けてしまいます。このため、ケーブルが抜けないように、図を参考にしてケーブルをフックにかけてください。

- 盗難防止ワイヤーを接続してから、ケーブルの接続を行ってください。
- ACアダプターを電源に接続すると、自動的に本機の電源が入ります。
- ケーブルをフックにかけるときは、余裕を持った長さで行ってください。
- ご使用のしかたにより接続するケーブルの種類は異なりますので、必要なケーブルを接続してください。

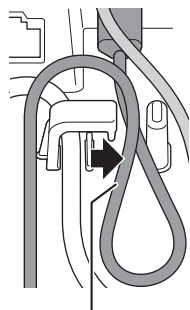
<接続例：micro USBケーブルを使用する場合>

- ① USBケーブルを接続し、ケーブルをフックの下①に通します。
- ② micro USBケーブルを接続し、ケーブルを輪にして③、②の順番に通します。
- ③ ACアダプターを接続し、ケーブルをフックの下②に通します。
- ④ LANケーブルを接続します。

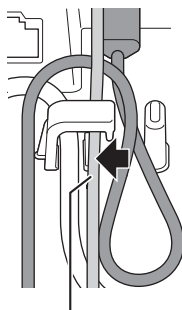


各部の接続方法

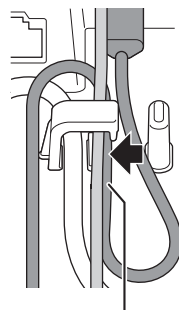
- ACアダプターのケーブルが通しにくいときは、一度micro USBケーブルを右側に寄せてから通してください。



micro USBケーブルを
右側に寄せる



ACアダプターのケーブルを
フックの下に通す



micro USBケーブルを
左側に寄せる

◆お願い

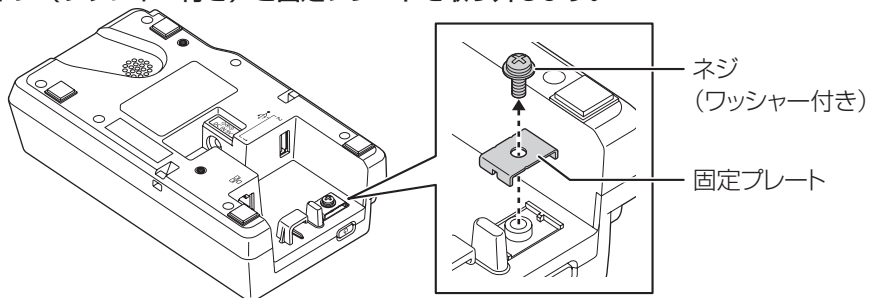
- ケーブルを無理に折り曲げたり、強く引っ張ったりしないでください。断線する場合があります。
- ケーブルを結束バンドなどで強く固定したり、束ねたりしないでください。
- 接続するケーブルの推奨サイズや形状については、購入先にお問い合わせください。
- LANポートには、LANケーブル以外を接続しないでください。

各部の接続方法

■盗難防止ワイヤー（市販品）の取り付け

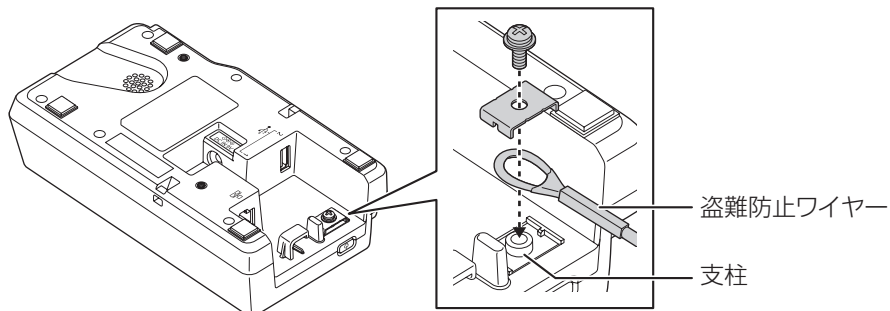
盗難や紛失を防ぐために、盗難防止ワイヤーの使用を推奨します。
推奨ワイヤーについては、購入先にお問い合わせください。

1. プラスドライバー（サイズ2番）でネジ（ワッシャー付き）を緩めて、ネジ（ワッシャー付き）と固定プレートを取り外します。



2. 盗難防止ワイヤーを支柱にかけて、固定プレートを取り付け、ネジ（ワッシャー付き）を締めて固定します。

- 締め付けトルク値：0.35 N・m～0.45 N・m



各部の接続方法

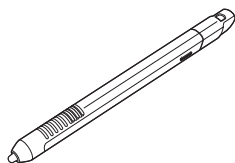
■電子サイン用スタイラスペン（別売品）について

スタイラスペンでディスプレイに触れて、電子サインなどをすることができます。スタイラスペンを使うときは、タッチ操作モードを「スタイラスペン」に設定してください。（→取扱説明書<端末設定編>「ディスプレイ設定」）

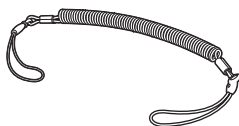
- 電子サイン用スタイラスペンは消耗品です。

構成品

スタイラスペン

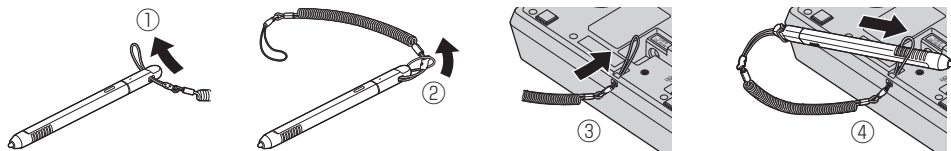


ペン用ケーブル



取り付けかた

ペン用ケーブルを使って、本体のケーブル取り付け穴に取り付けてください。ケーブル取り付け穴は左右の2か所にあります。ご使用環境にあわせて取り付けてください。



◆お願い

- ペン用ケーブルを強く引っ張らないでください。スタイラスペンを離れたときに、本体や人などに当たることがあります。
- スタイラスペンは、画面操作以外の用途に使わないでください。別の用途に使うと、スタイラスペンが故障したり、ディスプレイに傷をつけたりすることがあります。
- ディスプレイやスタイラスペンのペン先にほこりや油などの汚れが付着したときは、スタイラスペンを使わないでください。ディスプレイやスタイラスペンの先に異物が付着していると、ディスプレイが傷ついたり、正しく使用できなくなることがあります。使用する前にディスプレイとスタイラスペンの先を清掃してください。
- スタイラスペンに無理な力をかけないでください。ディスプレイが破損したり、スタイラスペンの先が破損したり劣化したりすることがあります。

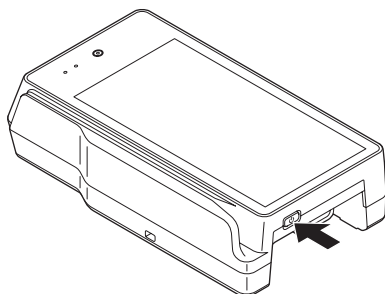
電源を切る／入れる

■電源を切る

1 「電源を切る／再起動／認証情報」の画面が表示されるまで電源ボタンを長押し（2秒以上）します。

2 [電源を切る]をタッチします。

- 「電源を切る／再起動／認証情報」の画面以外の領域をタッチすると、元の画面に戻ります。
- 再起動する場合は、[再起動]をタッチします。



■電源を入れる

1 電源ボタンを長押し（3秒以上）します。

■スリープ状態について

本機を一定時間操作しなかったときは、画面が消灯してスリープ状態になります。スリープ状態では、電力消費を抑え、タッチパネルの誤操作を防止します。スリープ状態で電源ボタンを押すか、画面をタッチすると、スリープ状態が解除され、画面が表示されます。

(スリープ状態へ移行するまでの時間設定→取扱説明書<端末設定編>「ディスプレイ設定」)

■メモリーリフレッシュについて

メモリーリフレッシュは、メモリーリフレッシュ設定に従った時間帯に本機を再起動する機能です。

本機を安定してお使いいただくために、メモリーリフレッシュの実行が必要です。

メモリーリフレッシュは、業務に影響の少ない時間帯（深夜など）に設定することを推奨します。設定方法は、取扱説明書<端末設定編>をご参照ください。

本機のセキュリティについて

■無線LANご使用時のセキュリティについて

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用して本機と無線LANアクセスポイントとの間で情報のやりとりを行います。

このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、通信内容を盗み見る可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のコンピューターやネットワークへアクセスを行う可能性があります。

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。

無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

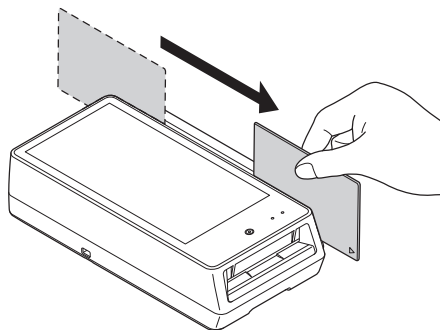
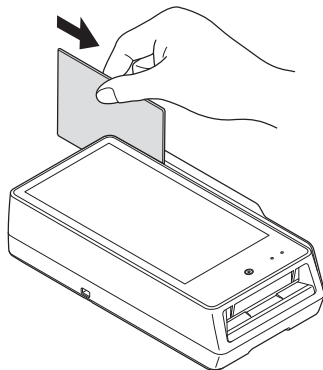
無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定は、より高いセキュリティ方式、および証明書をご使用ください。

ご不明点がございましたら購入先にお問い合わせください。

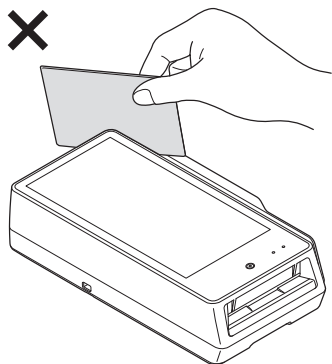
磁気カードの読み取り

- 1 磁気カードに表示されている矢印などのガイドの向きを確認し、磁気ストライプを下にしてカードリーダーの奥まで差し込みます。
 - カードを差し込むときは、カードリーダーから浮いたり、傾いたりしないようにしてください。
- 2 カードの下側全体をカードリーダーの奥に押し当てながら、一定の速度でまっすぐにスライドします。
 - 磁気カードリーダーの前後にカードのスライドを妨げるような物を置かないでください。

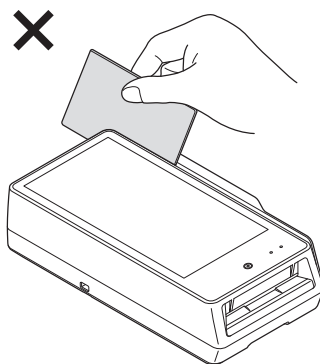


◆お願い

- 磁気カード以外は通さないでください。
- 水にぬれたカードを通さないでください。
- 割れているカードを通さないでください。
- シールやラベルなどを貼り付けたカードを通さないでください。
- カードの汚れや磁気ストライプの汚れは、ふき取ってからご使用ください。
- カードは中央付近を持って、前後左右に傾けず、まっすぐにスライドしてください。カードがカードリーダーから浮いたり、前後左右に傾いていると、正しく読み取れない場合があります。



カードの端を持たないでください。
カードを浮かせたり、前後に傾けないでください。

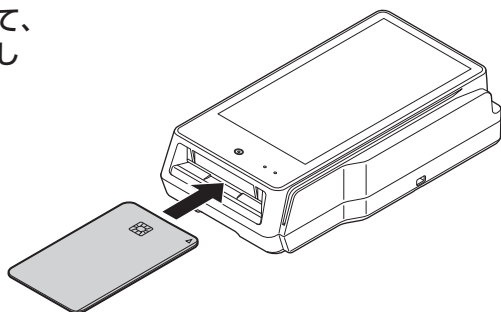


カードを左右に傾けないでください。

接触型 IC カードの読み取り

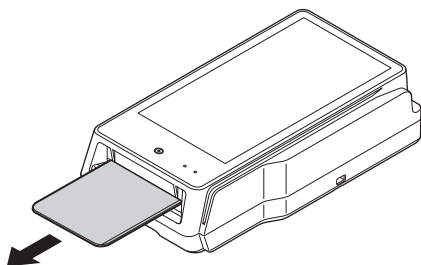
1 接触型 IC カードの接点部を上にして、接触型 IC カード挿入口に水平に差し込みます。

- 本体が動かないように押さえながら、カードを差し込んでください。
- カードがきちんと止まるまで差し込んでください。



2 処理が完了したら、カードを引き抜きます。

- 画面にカード処理完了のメッセージ（「承認されました」など）が表示されるまで、カードを引き抜かないでください。



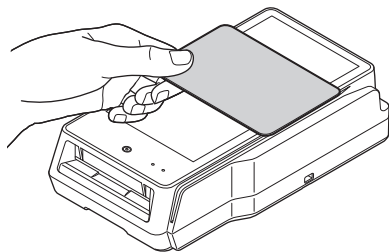
◆お願い

- 接触型 IC カード以外のものを差し込まないでください。
- 水にぬれたカードを差し込まないでください。
- 割れているカードを差し込まないでください。
- シールやラベルなどを貼り付けたカードを差し込まないでください。
- カードの汚れや接点の汚れは、ふき取ってからご使用ください。
- 接触型 IC カード挿入口に異物や汚れが付着しないよう、日々のご使用前に清掃してください。使用中に異物や汚れが付着したときは、直ちに取り除いてください。

非接触型 IC カードの読み取り／書き込み

- 1 非接触型 IC カードの中心 (またはスマートフォンに印字されている FeliCa などのマーク) を、画面に表示されているガイド (FeliCa マークなど) の位置にかざします。

- 表示されるガイドはカードによって異なります。



◆お願い

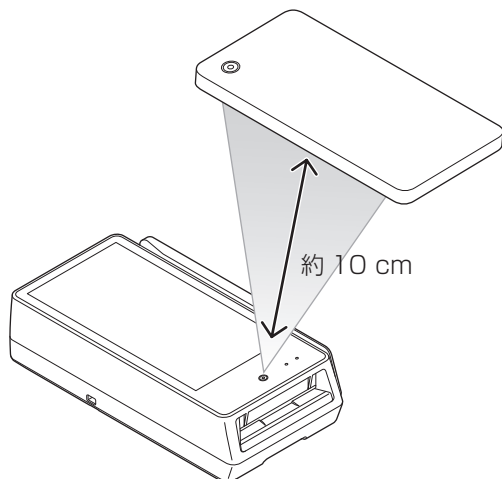
- スマートフォンをディスプレイなどに強くぶつけないようにご注意ください。
- 読み取り／書き込みができない場合は、カード (またはスマートフォン) の位置を少しずらしてください。
- ご使用になるときは、他の非接触型 IC カードリーダー／ライターから十分に離してください。カードが正しく読み取れない場合があります。

バーコードの読み取り

バーコードまたはQRコードを読み取ります。

1 バーコードやQRコードの中心をカメラに合わせ、約10 cm離れた位置で、約1秒かざします。

- 音が鳴るまで、かざしてください。
- 本機にバーコードやQRコードの読み取り映像を表示することができます。表示を確認しながら、バーコードやQRコードが画面に収まるようにかざしてください。

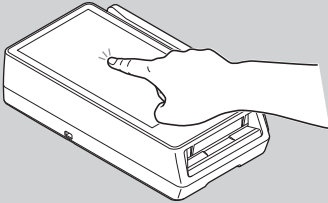
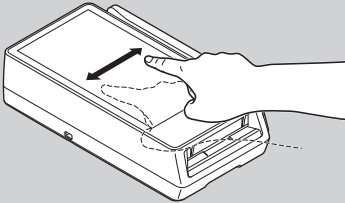
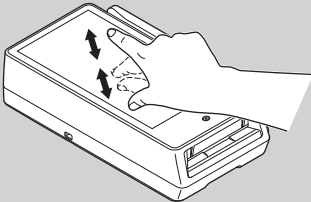


◆お願い

- 本機のカメラに照明が映らないようにして、ご使用ください。カメラに照明が映ると、バーコードやQRコードが読み取れないことがあります。
- バーコードまたはQRコードの読み取りは、決済を行うセンターの仕様により対応していない場合があります。購入先にお問い合わせください。

タッチパネル操作について

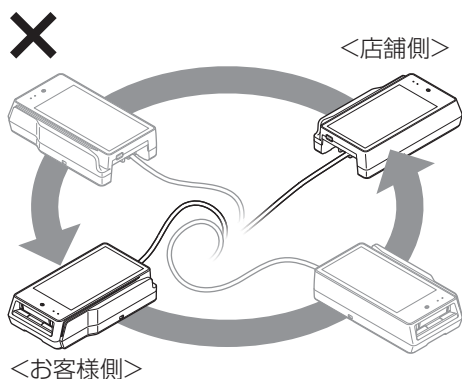
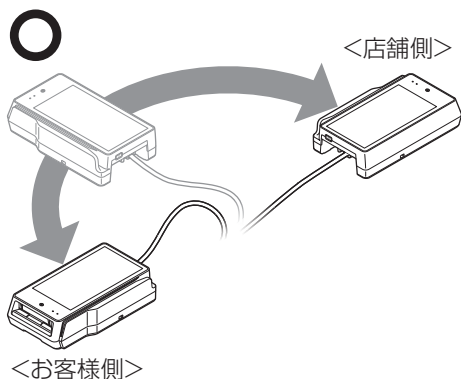
一般的なタッチパネルの操作例です。

<p>タッチ</p> 	<p>画面上の項目を選びます。</p>
<p>スワイプ (フリック)</p> 	<p>画面をスクロールします。 フリックは画面を素早くスクロールします。</p>
<p>ピンチ</p> 	<p>表示を拡大したり縮小したりします。 アプリケーションによっては、画面をダブルタッチすることで表示を拡大したり縮小したりすることができます。</p>

本機の動かしかたについて

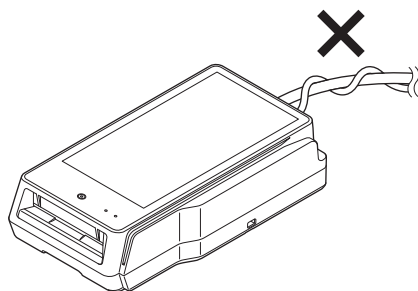
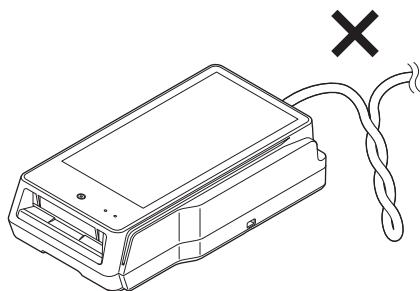
本機をお客様に提示した後、元に戻すときは、提示したときと同じ側から戻してください。

- 反対側から回転させて戻すと、ケーブルのねじれや絡まりの原因となります。



ケーブルにねじれや絡みがないかを確認してください。

- ケーブルにねじれや絡みがある状態で本機を移動すると、ケーブルが引っ張られて負荷がかかり、断線する可能性があります。ねじれや絡みがある場合は、解消してください。また、他の機器のケーブルとも絡まないようにしてください。



ソフトウェア更新

本機をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。

◆重要

- ソフトウェア更新中はACアダプターを外さないでください。

■ソフトウェア更新が必要になると

ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新実行のメッセージ（「インストールされます、再起動します」など）が表示され、自動的にソフトウェア更新を行います。

◆注意事項

- 本機の電源を入れた後は、必ずソフトウェア更新確認が実行されます。
- ソフトウェア更新は、本機に登録した端末設定や管理機能設定などのデータを残したまま行えますが、本機の状態（故障・破損・水ぬれなど）によってはデータの保護ができません場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 下記の場合はソフトウェア更新ができません。
 - 電源が入っていないとき、またはスリープ状態のとき
 - ネットワークに接続されていないとき
 - 日付と時刻が正しくないとき
- ソフトウェア更新には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は本機を利用できません。
- ソフトウェア更新の際、本機の固有情報（品番や製造番号など）がソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は、送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合は、本機が起動しなくなったり、失敗した旨のメッセージ（「端末更新確認に失敗しました。」など）が繰り返し表示されたりします。購入先にお問い合わせください。

困ったときには

本機をご使用中に、「おかしいな?」と思ったら、以下の対処方法をお試しください。それでも現象が変わらない場合は、購入先にお問い合わせください。

■電源

現象	考えられる原因	対策
電源が入らない	ACアダプターが正しく接続されていません。	正しく接続し直してください。(→18ページ)
	動作に必要な重要データが消失しています。	内蔵電池が消耗し、動作に必要な重要データが消失した可能性があります。(→9ページ) 購入先にお問い合わせください。
再起動している 電源が切れている	本機が高温の状態が続いた可能性があります。	本機が高温の状態が続くと、一部の機能を終了したり、自動で再起動または電源を切る場合があります。 本機の温度が下がってから、電源を入れ直してください。
	動作に必要な重要データが消失しています。	内蔵電池が消耗し、動作に必要な重要データが消失した可能性があります。(→9ページ) 購入先にお問い合わせください。
電源を入れても画面が表示されない 画面表示するが、すぐに消える	ACアダプターが正しく接続されていません。	正しく接続し直してください。(→18ページ)
	電源を切った直後に再度電源ボタンを押した。	電源を切って（電源ランプ消灯後）5秒程度待ってから、電源ボタンを押してください。

困ったときには

■ディスプレイ

現象	考えられる原因	対策
残像が表示される	同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。	別の画面を表示してください。
タッチパネルが操作できない タッチパネルが意図しない動作をする	電源が入っていません。	電源を入れてください。(→23ページ)
	エラーが発生しています。	一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。(→23ページ) ● 通常の方法で電源が切れない場合は、購入先にお問い合わせください。
	接続されている周辺機器（POS等）が本機を制御しています。	周辺機器側の画面の指示や取扱説明書に従ってください。
スタイラスペンで画面の操作ができない	タッチ操作モードが「ノーマルモード」になっています。	タッチ操作モードを「スタイラスペン」に設定してください。(→取扱説明書<端末設定編>「ディスプレイ設定」)

■その他

現象	考えられる原因	対策
磁気カードの読み取りができない 接触型ICカードの読み取りができない	使用できないカードの可能性があります。	本機で使えるカードかどうか確認してください。(→34ページ)
	カードが汚れています。	カードの汚れをふき取ってください。
	周囲に強い電磁波がある可能性があります。	強い電磁波のあるところから離して使用してください。(→10ページ)
非接触型ICカードの読み取りができない	使用できないカードの可能性があります。	本機で使えるカードかどうか確認してください。(→34ページ)
	周囲に強い電磁波がある可能性があります。	強い電磁波のあるところから離して使用してください。(→10ページ)

仕様

本製品（付属品含む）は日本国内仕様です。このページには基本モデルの仕様を掲載しています。

項目		仕様
CPU		ARM系 Octa Core
メモリー		2 GB
フラッシュメモリー		16 GB
ディスプレイ	表示方式	TFTカラー液晶
	表示色	16 777 216色
	画面寸法	5.5型
	ドット数	1440 ドット×720 ドット ^{*1}
タッチパネル *2 *3	方式	静電容量方式
	入力数	マルチタッチ10ポイント
	ペン入力	パッシブ方式
磁気カード リーダー	対応カード	JIS I型（第1・第2トラック）およびJIS II型
	操作方式	手動走行式
接触型ICカード リーダー	対応カード	ISO/IEC 7816規格準拠接触型ICカード
	操作方式	手動挿入、手動排出
非接触型ICカード リーダー／ライター	対応カード	ISO/IEC 14443 (TypeA / TypeB) 規格準拠非接触型ICカード および FeliCa
USBポート	準拠規格	USB 2.0 ^{*4}
	コネクタ	USB Type-A ×1 (Host専用)
micro USBポ ート	準拠規格	USB 2.0 ^{*4}
	コネクタ	micro USB Type-B ×1 (Device専用)
有線LAN	準拠規格	IEEE 802.3 10BASE-T (half duplex/full duplex) 100BASE-TX (half duplex/full duplex) オートネゴシエーション対応 ^{*5}
無線LAN	準拠規格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac (セキュリティ方式は、 WPA/WPA2/WPA3-Personal, WPA/WPA2/WPA3-Enterprise (TLS, TTLS, PEAP, PWD) , WPA3-Enterprise 192bit)

仕様

項目		仕様	
Bluetooth	バージョン	Ver5.1 ^{※6} (対応プロファイルは、HID/SPP/GATT)	
カメラ	画素数	800万画素	
スピーカー		モノラルスピーカー	
セキュリティ		耐タンパー機能あり ^{※7} 、PCI PTS規格対応	
ACアダプター ^{※8}	入力	AC100 V、50 Hz/60 Hz	
	出力	DC 9 V、3.0 A	
消費電力		約27 W (本体の電源を切っているとき約1.0 W)	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)		約93 mm×167 mm×44 mm	
質量 (ACアダプターは除く)		約370 g	
環境条件	操作時	温度	0 °C～40 °C
		湿度	20 %～80 % RH (結露なきこと)
	保管時	温度	-10 °C～60 °C
		湿度	20 %～80 % RH (結露なきこと)

● 本製品の仕様およびデザインは予告なく変更することがあります。

- ※1 本機に搭載している液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、一部のドットが点灯していなかったり、常時点灯していたりする場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※2 手袋をしたまま操作したり、ぬれた手で操作したりしないでください。
- ※3 タッチパネルにはシートなどを貼り付けしないでください。タッチパネル誤動作の原因となります。
- ※4 USB 2.0対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
- ※5 接続先のスイッチング機器もオートネゴシエーション機能を有効にする必要があります。
- ※6 Bluetooth対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
- ※7 改造・改ざんされるなどのセキュリティ異常を検知する機能です。タンパー検出後、復旧するためには当社指定場所での作業が必要です。
- ※8 本製品はAC100 V対応のACコードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(→5ページ)

パナソニック コネクト株式会社

〒540-8553 大阪府大阪市中央区城見2丁目2番33号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2024-2025

DHQP1115YA/J1
P0924-1075